



新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。昨年は市制施行65周年の節目の年であり、長年の懸案でありました中心市街地に、拠点施設アンフォーレをオープンさせることができました。

私はその利用状況が気になり、時々様子を見に出かけますが、幼児から学生といった明日を担ってくれる若い世代が、読書や勉強、語らいなどに使ってくれていることに、ささやかな満足感を覚えています。今後も、市民の学びと交流の場としてご活用いただき、アンフォーレが新しい文化の森となりますことを願っています。

さて本年3月には、昭和63年開業の三河安城駅が開業30周年を迎えます。開業直後は田畑の中の新幹線駅の感がありましたが、今では周辺開発が進み安城の新都心の様相を呈しており、更なる発展が期待されます。今後は「ひかり」や快速の停車をJRに要望してまいります。

また7月には、旧図書館建物を子ども発達支援センターとしてリニューアルオープンいたします。現在、発達に心配のある子の支援は、保健センター、福祉センター、教育センター、サルビア学園で行っています。この4部門を集約させることで、子どもの将来の自立に向けて、成長段階に応じた一貫した支援体制の充実を図ります。新施設の愛称は「あんステップ」²と決まりました。利用者の皆さんが安心して集われ、ここから親子ともにステップアップして行かれるとの期待が込められています。

本市では、この他にも様々な施策を進めてきましたが、これまでの地道な取り組みの集大成をお示しできる、よき一年とせねばならないと決意を新たにしています。皆さま方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。本年も一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



安城市長 神谷 学

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。市議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は市制施行65周年記念の年として、本市議会におきましては、「未来・夢」中学生議会を開催いたしました。市内8中学校から選出された中学生議員を議場に招き、市政についての様々な質問や提言をいただきました。演壇に堂々と立つ中学生議員の姿はとてもすばらしく、周年記念事業にふさわしいものになったと思っています。

その中学生議会でも活用しましたが、本市議会では現在、タブレット端末を使い議会ICT化を推進しています。この取り組みが非常に先駆的であるということ、昨年6月オープンの図書情報館を核とする先進的な中心市街地拠点施設「アンフォーレ」も全国的に注目を浴びており、今や日本全国から多くの視察団が本市を訪れています。この様子は、まさに明治13年に明治用水が開通し、本市が「日本デンマーク」と謳われ、多くの視察団が全国から訪れた時代を彷彿とさせています。このように本市から先進的な情報を発信していることをとても誇りに思うとともに、中心市街地活性化を含めた成功の手本となるよう、本市議会としまして、さらに努力と研鑽を積み重ねなければならぬと身の引き締まる思いです。

また、海外の姉妹都市提携の節目の時期であり、昨年は米国ハンチントンビーチ市と35周年、デンマーク王国コリンギ市と20周年を迎え、今年は、オーストラリア連邦ホブソンズベイ市と30周年を迎えます。

本市の国際都市としての発展を期待するとともに、諸外国の先進性を学び、目指す健幸都市の実現に寄与すべく、本市議会としましても尽力いたす所存です。

結びにあたり、市民の皆様にとって新しい年に幸多かれとご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



安城市議会議員 石川 孝文